

## 2024年度A級候補選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |        |       |            |       |
|---------|--|--------|-------|------------|-------|
| ●大会名    | 令和6年度 第79回 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ  |        |       |            |       |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)   |        |       |            |       |
| ●会場     | おおきに舞洲アリーナ   |        |       |            |       |
| ●講師     | 黒岡 和哲 様 / 茅野 修司 様<br>細見 竜太 様 / 大倉 哲也 様   |        |       |            |       |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)<br>9:30 集合・開講式<br>10:00 実技開始<br>16:45 閉講式<br>17:00 解散   |        |       |            |       |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 10:00 ~   |        |       |            |       |
| 対戦カード   | 関西大学第一高校   |        | VS    | 大阪体育大学浪商高校 |       |
| 主審(CC)  | 伊達桃子   | 副審(U1) | 中川緋菜氏 | (U2)       | 重松志保氏 |
| 講師/主任   | 茅野 修司 様 / 細見 竜太 様  |        |       |            |       |
| 講評      | <ul style="list-style-type: none"><li>前半のゲームフローの積み立て方が曖昧に感じ、判定の基準がわかりにくかった。</li><li>特に突き出しのトラベリングに対するテンポセットがルーズになっていたため、クルーでテンポセットをしっかり行ってほしい</li><li>後半につれて入るべきところに判定が入るようになっていったのはよかった。</li><li>一つの現象に分析を重ねてほしい、吹いたことで自分が苦しくなる判定を無くして欲しい。</li><li>講習会という名目で緊張するのはよくあることだが、緊張に負けないように試合に臨んでほしい。</li></ul>   |        |       |            |       |
| 自己の感想   | 今回担当した試合では、試合の入り方がいい形で入れませんでした。てまじナルとして判定をすべきものもコールしてしまったり、逆にテンポセットしなければならないものが判定できていませんでした。私自身の課題として瞬間的に判定をしまう癖を直していく必要がありますが、まだまだ修正が足りないと感じました。ただ、試合の中で修正をかけることができた時間帯もあったので、今後も継続していきたいと思えます。一試合をクルー3人で運営していく中でクルーの弱いところをお互いカバーし合いながら、運営していったのは良かったです。特にメカニクスやチーム情報をプレカンファレンスで確認し、試合中も常に情報共有をしながら運営できました。今後もそういったクルーワークをどの試合でも行えるように試合に臨みたいです。研修会を開催していただきました協会の方々、ご指導して下さったIRの方々、大会運営に尽力していただきました高体連の役員の方々に御礼申し上げます。 |        |       |            |       |

## 2024年度 A級候補選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |   |              |    |          |    |        |
|---------|--|---|--------------|----|----------|----|--------|
| ●大会名    | 令和6年度 第79回 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ  |   |              |    |          |    |        |
| ●日程     | 令和6年4月21日 (日) ~  |   | 令和6年6月2日 (日) |    |          |    |        |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲   |   |              |    |          |    |        |
| ●講師     | 黒岡 和哲 様、茅野 修司 様<br>細見 竜太 様、北村 仁 様、古島 彩代 様、河崎 亮介 様  |   |              |    |          |    |        |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)<br>9:00 会場入り<br>10:00 PGC<br>11:25 コートイン、コートインスペクション<br>11:40 Tip Off<br>17:00 終了 |   |              |    |          |    |        |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:40 ~   |   |              |    |          |    |        |
|         | 対戦カード  | 箕面学園高等学校  |              | VS | 大阪桐蔭高等学校 |    |        |
|         | 審判   | CC  | 河崎 亮介氏       | U1 | 増田 知真    | U2 | 上田 昴虎氏 |
|         | 講師/主任  | 細見 竜太 様、北村 仁 様  |              |    |          |    |        |
|         | 講評   | ・ペイシエント/ケイデンスを笛のタイミングを通じてもっと使い分けてほしい。特にケイデンスの時の笛のタイミングはもっと分析してから間を開けてコールするとさらによい。<br>・笛のタイミングによっては、オーバーオフィシエーティングにも繋がってしまう。<br>・TFの後の処置。バックコートでのコールなのでショットクロックは24秒リセットであるべき。<br>・ベンチコントロールの面において、TFは効果的であったのではないか。  |              |    |          |    |        |
|         | 自己の感想  | ゲームの展開的に、主に白のインサイドと青のアウトサイドの攻防が予想されていました。特に、白がオールコートプレスされた時は、インサイドが上がってくるのが過去の戦術で分析されていたので、クルーで共通してCはバックコートでステイしていました。これによりいつも以上に、トランジション中等で判定がしやすくなりました。<br>ベンチコントロールの面では、両チームともコミュニケーションを意識してベンチに耳を傾け、求められた時には、反応していました。ただ、白と多くのコミュニケーションを取りましたが、青とはなかなか機会がなく、偏ったコミュニケーションの量だったと反省点があります。白とコミュニケーションを比較的よくとっていたのでTFとの境界線を考えやすく、結果的にTFをコールすることによって効果的にゲームを展開することができました。その後のTFの処置ミスは反省点です。<br>最後ではありますが、今大会開催にあたって大会準備やTOを行っていただきました大阪高体連の皆様、並びにチーム関係者の皆様、また今大会に参加させていただく機会を下さった関係各位の皆様、講評していただきました細見様・北村様に心より御礼申し上げます。 |              |    |          |    |        |

## 第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |   |              |             |       |
|---------|--|---|--------------|-------------|-------|
| ●大会名    | 第79回 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ                |   |              |             |       |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日) ~                                     |   | 令和6年6月2日 (日) |             |       |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲   |   |              |             |       |
| ●講師     | 黒岡 和哲様、茅野 修司様、細見 竜太様、北村 仁様、大倉 哲也様                  |   |              |             |       |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)                                       |   |              |             |       |
|         | 9:30 集合・開講式<br>10:00 実技開始<br>16:45 閉講式<br>17:00 解散 |   |              |             |       |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:40 ~                               |   |              |             |       |
|         | 対戦カード  | 大塚  |              | VS          | 羽衣学園  |
|         | 主審(CC)   | 正水 剛氏   | 副審(U1)       | 北野 謙悟氏 (U2) | 吉田 拓哉 |
|         | 講師/主任  | 黒岡 和哲様、大倉 哲也様   |              |             |       |
|         | 講評   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1試合通して、ダブルコールが多い</li> <li>・選手が審判のファウル基準に合わせてファウルが減ったのではなく、審判が笛を鳴らさなくなった</li> <li>・リードとトレイルのエッジ下の協力の仕方</li> </ul>  |              |             |       |
|         | 自己の感想  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1試合通して、私自身ダブルコールが多く、ボールを目で追っている部分があった</li> <li>・三人のメカとして、エッジ下の部分の協力が甘くファウルが起きたが、誰も見ていないということになってしまった</li> <li>・DQと思われるコンタクトがあった際にリードでクローズダウンポジションにいていなければならない中、セットアップポジションにいたため、コンタクトを確認できなかった</li> <li>・今回の試合でプライマリ、メカニクス自身の理解の甘さが大きく出た試合だったと思います。次回のレフリー活動までにもう一度確認を行い理解を深めていく必要があると感じました</li> <li>・最後になりましたが、今大会開催にあたり大会準備やTOを行っていただきました大阪高体連の皆様、並びにチーム関係者の皆様、また今研修会を開催していただきました大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、講師の皆様にご心より御礼申し上げます。</li> </ul> |              |             |       |

## 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会

### 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |  |        |         |            |
|---------|--|--|--------|---------|------------|
| ●大会名    | 令和6年 第79年大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会                    |  |        |         |            |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)                                       |  |        |         |            |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲   |  |        |         |            |
| ●講師     | 黒岡 和哲 様 茅野 修司 様<br>細見 竜太 様 大倉 哲也 様 北村 仁 様          |  |        |         |            |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)                                       |  |        |         |            |
|         | 9:30 集合・開校式<br>10:00 実技開始<br>16:45 閉講式<br>17:00 解散 |  |        |         |            |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:40 ~                               |  |        |         |            |
|         | 対戦カード  | 箕面学園   |        | VS      | 大阪桐蔭       |
|         | 主審(CC)   | 河崎 亮介 氏  | 副審(U1) | 増田 知真 氏 | (U2) 上田 昂虎 |
|         | 講師／主任  | 細見 竜太 様 北村 仁 様   |        |         |            |
|         | 講評   | ・ショットクロックの処置のミス<br>・ゴール下の判定をするときリードで近いことが多い<br>・ファウルの判定をし鳴らすべき<br>・3or2の見方<br>・DFの距離の近さを共有できていたか   |        |         |            |
|         | 自己の感想  | 今回1試合を終えて、大きな怪我などなくクルーで円滑にゲームを進めれたと思います。良かったことは、選手、ベンチとよくコミュニケーションを取れたと思います。TFが起きた時の再開時のクロックをミスしていた。バックコートで再開の時に24秒で始めないといけないところを20秒で再開していた。誰かが気づき修正すべきだった。留学生がキーマンになるとクルー全体で共有されていた。ペースラインからのスローインの時に両チームに声を付けやることができた。留学生は身長が高いため少し広がって判定するべきだった。上からセカンダリーで鳴らしてもらうことが多かったのでペイント内でリードの位置を試合中に改善できたら良かった。トレイルやセンターで3or2の確認をするときに体を斜めにしめたりしてよくない見方をしていた。このような見方を改善するべきであった。もっとメカニクスのところからプレーコーリングのところまで一から勉強する必要があると感じた。最後になりましたが、今大会開催にあたり大会準備やTOを行ってイアいただきました大阪高体連の皆様、並びにチーム関係者の皆様、大阪府バスケットボール協会の皆様、講師の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。 |        |         |            |

## 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |   |    |         |          |
|---------|--|---|----|---------|----------|
| ●大会名    | 令和6年度 第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会   |   |    |         |          |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)   |   |    |         |          |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲   |   |    |         |          |
| ●講師     | 黒岡和哲様、細見竜太様、茅野修司様、北村仁様、大倉哲也様、  |   |    |         |          |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)<br>9:30 集合・開講式<br>10:00 実技開始<br>PGC<br>11:30 コートイン<br>11:40 トスアップ<br>16:45 閉講式<br>17:00 解散  |   |    |         |          |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:30 ~   |   |    |         |          |
|         | 対戦カード  | 大塚  |    | VS 羽衣学園 |          |
|         | CC   | 正水剛氏  | U1 | 北野      | U2 吉田拓哉氏 |
|         | 講師／主任  | 黒岡和哲 様・大倉哲也 様   |    |         |          |
|         | 講評   | ・試合の第1Qでは、両チームのイリーガルなプレーに対して積極的な判定を3人で出来ていたが、メンバーが変わる展開や点差が開いても1試合を通して同じものを吹いていく必要がある。両チームのベンチにトレーナーが帯同していたが、複数のトレーナーが帯同していることや、ベンチ横で常に立っていたことなどに意識がなく、事前に大会本部に確認しておく必要があるのではないのか。Lのメカニクスの理解と正しいメカニクスの実践。エッジ下のシュートに対してLがprimaryである以上、責任を持ってプレーに目を当てること。 |    |         |          |
| 自己の感想   | ・1試合を通してillegalなものに積極的に判定はできたと思う。しかし、点差が開いた状況やメンバーが変わった時に、プレーが繋がっているからno callにしてしまったプレーがいくつかあり、RSBQへの影響があり必要なcallもあったと思います。また、クルーで必要以上のダブルコールがあったことは反省である。自分自身もボール中心になってしまった時に、相手のエリアのプレーを同じタイミングで判定してしまったことや、オフボールのscreenに判定を入れられなかったことを反省しています。自身がLの時に、エッジ下のprimaryエリアを積極的に見に行かなかったことで、クルーにも迷惑をかけてしまいました。正しい判定を積み重ねていくためや、1試合を通して良いクルーワークを発揮するためにも、メカニクスの理解と実践に努力する必要があることを痛感しました。最後になりましたが、今研修会をひらいてくださった、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。 |   |    |         |          |

**2024 年 度 A 級 候 補 選 抜 研 修 会  
参 加 報 告 書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |    |    |              |          |         |
|---------|--|----|----|--------------|----------|---------|
| ●大会名    | 令和6年度第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会  |    |    |              |          |         |
| ●日程     | 令和6年4月21日 (日) ~  |    |    | 令和6年6月2日 (日) |          |         |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲 他   |    |    |              |          |         |
| ●講師     | 黒岡 和哲様、茅野 修司様、細見 竜太様、大倉 哲也様、北村 仁様  |    |    |              |          |         |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)   |    |    | おおきにアリーナ舞洲   |          |         |
|         | 9:00 会場到着<br>9:30 開講式<br>10:00 更衣後PGC、Warm-up<br>11:25 コートin、コートインスペクション<br>11:40 実技開始<br>16:45 閉講式  |    |    |              |          |         |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:40 ~   |    |    |              |          |         |
| 対戦カード   | 箕面学園高等学校   |    | VS |              | 大阪桐蔭高等学校 |         |
| 主審      | 主審   | 河崎 | U1 | 増田 知真 氏      | U2       | 上田 昂虎 氏 |
| 講師/主任   | 細見 竜太様、北村 仁 様  |    |    |              |          |         |
| 講評      | <p>・事前に共有した両チームの情報をもとに、クレー3人で試合をコントロールできていたかどうか検証してほしい。(この試合のどこに注意をして、どのようにコントロールしていきたいかが見えてあまり伝わらなかった。)</p> <p>・時計に対してもっと意識を向けてほしい。(フリースローの際のレーンバイオレーションでは、時計が流れるものだとして常に考えておく。万が一流れた際は修正。2.4秒バイオレーションも同様にMTを事前にもっておき、流れた際は修正を入れる。)</p> <p>・処置ミスをしないように常に冷静に対処すること。</p> <p>・Cadenceで笛をいれるケースがPrimaryのタイミングで鳴っていた。(ゲームのコントロールを失いそうなプレイに対して判定がいずれかのクレーで笛が入ったのはOK。)それぞれのPrimary Areaをもう一度意識して、Cadenceにもチャレンジしてほしい。</p>   |    |    |              |          |         |
| 自己の感想   | <p>今回もCCとして割当てを頂いたため、事前にクレーと連絡を取り合いチーム情報・メカについてなどを映像で共有するなど、当日の試合でクレー全体が同じ方向の判定ができるように「準備」を行って来ました。このような準備を行なった上で臨んだ試合でしたが、一定の判定基準を一試合通してクレー3人で示すことができたと思います。しかし、IRの方が仰られるように、試合のポイントとなるマッチアップや戦術に対して、レフリースイドがコントロールできていたかは課題が残りました。また、自分がセカンダリーとして笛を入れるケースで、プライマリーと同じタイミングで笛を鳴らしているケースがありました。プライマリー・セカンダリーの理解を今後さらに深めていくことで、自信と余裕を持ってCadence Whistleにチャレンジしたいと思いました。</p> <p>最後になりましたが、本講習会を開催していただきました大阪審判委員会の皆様、そしてIRとしてご参加いただきました近畿審判委員会の皆様に深く感謝申し上げます。</p> |    |    |              |          |         |

## 令和6年度 第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |    |              |
|---------|--|----|--------------|
| ●大会名    | 令和6年度 第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ   |    |              |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)   |    |              |
| ●会場     | おおきに舞洲アリーナ   |    |              |
| ●講師     | 大阪府審判委員会 インストラクター  |    |              |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)<br>9:30 集合・開講式<br>10:00 実技開始<br>16:45 閉講式(予定)<br>17:00 終了   |    |              |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 10:00 ~   |    |              |
| 対戦カード   | 関西大学第一高等学校   | VS | 大阪体育大学浪商高等学校 |
| 主審      | CC:伊達氏 U1:中川氏 U2:重松  |    |              |
| 講師/主任   | 茅野 修司 様 細見 竜太 様  |    |              |
| 講評      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ゲームの中で吹くべきものは取り上げているけれど、テンポセットのメッセージが伝わりにくかった。</li><li>・後半にかけて、積極的に判定できているところはよかった。ただ、上級となれば、一貫性ある判定が求められるため、自己研鑽する必要がある。</li><li>・トラベリングの明らかなものは確実に取り上げることが大事である。また、しっかりとした基準を示せるようにする事が大切である。</li></ul>   |    |              |
| 自己の感想   | <ul style="list-style-type: none"><li>・本研修会を迎えるにあたり、たくさんの方々のご尽力のもと開催していただき本当に有難うございました。開閉講式で講師の方々の思いや取り組んでこられたことを聞かせていただき、当たり前のことですが改めて各大会へ準備をしっかりとこなし、精進しないといけないと思いました。その中で、本大会と研修会に参加させていただき有難うございました。</li><li>・ゲームの反省として、前回に引き続きクルーで協力をして1ゲームを無事終えることができたのかなと感じます。その中で、トラベリングや一貫したファールコールに課題があがりました。ゲームの入りからテンポセットが甘かったと感じます。なぜそうなってしまったのかというところをしっかりと自己研鑽をし、ポジションやメカニクスを見直す必要があると考えさせていただきました。</li></ul> |    |              |

**2024 年 度 A 級 候 補 選 抜 研 修 会**  
**参 加 報 告 書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |   |  |                       |
|---------|---|--|-----------------------|
| ●大会名    | 令和6年度第79回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ   |  |                       |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)  |  |                       |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲  |  |                       |
| ●講師     | 黒岡 和哲 様・茅野 修司 様<br>細見 竜太様・北村 仁 様 ・大倉 哲也 様   |  |                       |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)<br>9:30 集合・開講式<br>10:00 実技開始<br>16:45 閉講式<br>17:00 解散  |  |                       |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 11:40 ~  |  |                       |
|         | 対戦カード   | 大塚高校 VS 羽衣学園高校   |                       |
|         | 主審  | CC 正水 剛  | U1 北野 謙悟 氏 U2 吉田 拓哉 氏 |
|         | 講師／主任   | 黒岡 和哲 様・大倉 哲也 様  |                       |
|         | 講評  | ・ゲーム序盤、よくファウルを取り上げていたが、ゲームが進むにつれ、少なくなっていく。選手が改善した感じではなく審判の基準が下がったような印象。<br>第1Qのような基準を1ゲーム継続して行く必要がある。<br>・ダブルコールになる場面でプライマリーレフリーでないレフリーがコールに行くことが多かった。<br>・トレーナーの人数などベンチ管理に関する事を事前に把握し対処していく必要がある。 |                       |
| 自己の感想   | ・第1Qから明らかなファウルを取り上げることができ基準を示せたと思う。第2Q以降は、ファウルの数が減っていったので良い入りができたと感じていた。しかし講評では第2Q以降はクローの基準が下がったのではと指摘を頂き、現場と外からの感じ方に差があることに気づき、このことを感じとらなければならないと思いました。<br>・トラベリングの判定に迷いがあり、基準が曖昧であったと思う。<br>・点差のあるゲーム展開であったが1ゲーム通して集中できていた。<br>・事前にもっとプライマリーエリアに関してクローで確認しておく必要があると感じた。最後になりましたが、研修会にご協力くださいました講師の皆様へ感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。 |  |                       |

**2024 年 度 A 級 候 補 選 抜 研 修 会**  
**参 加 報 告 書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |        |    |       |              |        |  |
|---------|--|--------|----|-------|--------------|--------|--|
| ●大会名    | 令和6年度 第79回 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 順位決定リーグ  |        |    |       |              |        |  |
| ●日程     | 令和6年6月2日 (日)   |        |    |       |              |        |  |
| ●会場     | おおきにアリーナ舞洲   |        |    |       |              |        |  |
| ●講師     | 黒岡 和哲様、茅野 修司様、細見 竜太様、北村 仁様、<br>大倉 哲也様、太田 令菜様   |        |    |       |              |        |  |
| ●スケジュール | 令和6年6月2日 (日)   |        |    |       |              |        |  |
|         | 8:45 更衣<br>9:00 PGC開始<br>9:30 集合・開講式<br>9:50 コートイン、コートインスペクション<br>10:00 試合開始<br>16:45 閉校式  |        |    |       |              |        |  |
| ●担当試合   | 令和6年6月2日 (日) 10:00 ~   |        |    |       |              |        |  |
| 対戦カード   | 関西大学第一高等学校   |        | VS |       | 大阪体育大学浪商高等学校 |        |  |
| 主審      | CC   | 伊達 桃子氏 | U1 | 中川 緋菜 | U2           | 重松 志保氏 |  |
| 講師/主任   | 茅野 修司 様、細見 竜太様   |        |    |       |              |        |  |
| 講評      | ・1試合通して大きなミスはなかったが、トラベリングの整理が不十分だった。<br>・前半と後半の基準が変わったように感じた。後半の方が積極的に判定するように見えた。前半と後半の両チームのプレーの変化を感じて、ゲーム終盤に向けてどう<br>いう判定をしていくか考える。   |        |    |       |              |        |  |
| 自己の感想   | この大会では、チームとしてもインターハイ出場に向けて懸命に努力して、準備を<br>重ねてきたと大会であると考えています。私自身も最大限の力を発揮できるように<br>準備してきました。結果として、大きなミスや怪我がなく、試合を無事に終えるこ<br>うできたことは良かったです。両監督とのコミュニケーションを積極的に取り、課題で<br>あったT.O管理も挑戦することができました。また、決断を迫られる場面で笛を吹く<br>ことで自分の自信につながりました。<br>このゲームは前半から(一試合を通じて)ではなく、後半になってからようやく力を発<br>揮できたように感じました。一試合全体を通じて力を発揮できなかった原因は、<br>ゲーム序盤から明確なトラベリングの判定やマージナルなイリーガルな接触を自己<br>で整理できなかったことだと考えます。また、TとCの瞬間における視野の使い方が<br>明確ではなかったこともあり、トラベリングの判定にも影響が出ました。今後は、T<br>とCの状況でのポジショニングや視野の使い方を見直し、ゲーム序盤から基準を示す<br>ことができるように改善したいと思います。<br>さらに、将来もコート上で自分の強みを最大限に活かし、レフェリングを磨くために<br>努力し続けます。最後になりますが、この大会を企画・運営し、開催して下さった<br>大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様にご心から感謝申し上げます。あり<br>がとうございました。 |        |    |       |              |        |  |